

# 小学校算数単元計画【第5学年：合同な図形】

## 【単元のねらい】

合同の意味を理解し、合同な図形の性質調べや作図などを通して、平面図形についての理解を深める。

【単元のめあて】合同な三角形や四角形について、その性質やかき方を調べていこう。

1時	【課題】「ぴったり重なる」三角形・四角形はどれかな。	【活動】いくつかの三角形・四角形の中から形も大きさも同じ図形を見つける。	【まとめ】「ぴったり重なる」三角形は〇〇四角形は〇〇。→「合同」とあるという。	振り返り
2時	【課題】合同な図形の特徴は、何かな。	【活動】合同な図形について、重なり合う頂点・辺・角を調べたり対応する頂点に着目して合同な図形をかいたりする。	【まとめ】合同な図形は、対応する辺の長さが等しく、対応する角の大きさも同じ。	振り返り
3時	【課題】長方形・平行四辺形・台形を一本の対角線で分けてできた2つの三角形は合同かな。	【活動】長方形・平行四辺形・台形を対角線で分けた三角形を実際に重ね合わせて調べる。	【まとめ】長方形・平行四辺形は、合同になるが、台形は合同にならない。	振り返り
4時	【課題】頂点Aを見つけるためには、どの辺や角がわかればよいかな	【活動】頂点Aを見つける方法について考え、説明する。	【まとめ】①辺AB辺ACの長さ②辺ABの長さとその間の角③1つの辺の長さとその両端の角がわかればよい。	振り返り
5時	【課題】合同な三角形をかくためには、全部の辺や角の大きさは必要かな。	【活動】実際に作図をしながら、合同な三角形をかくために必要なことを考える。	【まとめ】全部の辺や角の大きさが分からなくても、3通りのかき方で合同な三角形をかくことができる。	振り返り
6時	【課題】合同な四角形をかくためには、どこをはかればよいかな。	【活動】合同な三角形のかき方をヒントにしながら考え、説明する。	【まとめ】三角形のかき方をもとにして、3つの頂点を決めて、残りの頂点を決めれば合同な四角形をかくことができる。	振り返り
7時	【課題】三角形の3つの角には、どんなきまりがあるかな。	【活動】三角形を敷き詰めたり、切り取って集めたりして角の和を調べる。	【まとめ】どんな三角形でも、3つの角の大きさの和は $180^\circ$ になる。	振り返り
8時	【めあて】三角形の3つの角の和のきまりを使って問題を解こう。	【活動】三角形の角の大きさの和のきまりを使って、実測せずに外角や正三角形の角の大きさを求める。		振り返り
9時	【課題】四角形の4つの角の大きさの和にはどんなきまりがあるかな。	【活動】角をはかったり、切り取って集めたり、対角線で分けたりして角の和を調べる。	【まとめ】四角形の4つの角の大きさの和は、 $360^\circ$ になる。(三角形の角の大きさの和 $180^\circ$ を使えば、多角形の角の和もわかる)	振り返り
10時	【めあて】学習のまとめをしよう	【活動】合同条件や作図に関する問題に取り組む。		振り返り

【単元の振り返り】合同な三角形や四角形の特徴が分かり、かくことができた。三角形の角の大きさの和のきまりを使えば、いろんな角の大きさや多角形の角の大きさの和を求めることができた。